

magazineplus外部連携オプション (IPアドレス認証のみ)

検索結果詳細画面に表示されるリンクボタンをクリックすることで、magazineplus上で図書館の所蔵確認や、原文を読むことができます。

※CiNii Articlesとの連携は、magazineplusの標準仕様です。連携が不要の場合はリンクボタンを外せます。
※その他の連携についてはお申込みが必要です。設定は無償で行いますので、詳細をお問い合わせ下さい。

1 機関リポジトリコンテンツの多面的な学内利用フレームワークの提案と実装

他言語標題: A Framework for Reuse of contents in Institutional Repository

著者等: 青山 俊弘;山地 一慎;池田 大輔[他]

書誌: 情報知識学会誌 / Journal of Japan Society of Information and Knowledge / / 出版者等:情報知識学会 / 東京 / 季刊 / ISSN:0917-1436 / JapanMarc No.:00082962 / ZM13 / Z14-1782 / NDL書誌 ID:000000077326

番号等: 23(3) / 2013.10 / / p.380~394 [目次を見る](#)

付与検索語: Institutional Repository;Metadata;Private Repository;Reuse;Self-archiving;Showcase;ショーケース;セルフアーカイビング;プライベートリポジトリ;メタデータ;機関リポジトリ;再利用

1 CiNii Articles 2 OPAC 3 WebcatPlus 4 J-STAGE 5 CiNii Books
6 OJNavi-原文 7 RefWorks

注記: 【日外整理No.Z024970142】(国立国会図書館作成)

キーワード: 機関リポジトリ, プライベートリポジトリ, メタデータ, 再利用, ショーケース, セルフアーカイビング
Institutional Repository, Private Repository, Metadata, Reuse, Showcase, Self-archiving

1 はじめに
近年、日本の学術機関では機関リポジトリ (IR) の構築が進んでいる[1]。2013年5月20日現在、282の機関リポジトリが公開され、156万件以上のコンテンツが登録されている。これらのコンテンツは紀要論文、学術雑誌論文、学位論文、一般雑誌記事や研究報告書などで構成されている[2]。先頃まとめた第4期科学技術基本計画では、すでに機関リポジトリが設置されている機関においてはコンテンツの拡充が、未設置の機関では機関リポジトリの設置が求められており[3]、日本における機関リポジトリは初期段階から、その価値を高めるべく新たな段階に入ったと言える。この

ことは、今後は既存あるいは新規の機関リポジトリにおいて、コンテンツの拡充と利用をどのように推進するかという問題と直結する。
機関リポジトリは、その機関における知的生産物を一般に公開することを主眼において、単体のウェブサービスとして構築されてきた[4]。そのため、インターネットにおいて、登録されたコンテンツの可視性を高めるために、検索エンジンにメタデータを渡すことについては、十分な機能提供がなされている[5]。一方で機関内においても、他の部局のウェブサイトなどで、機関リポジトリのメタデータと重複した情報が必要とされている場面が多くある。最近では、業績データベースとの連

原文を読む

CiNii Articles 検索結果画面

① CiNii Articles原文連携 (標準仕様)

国立情報学研究所 (NII) が提供する、学術論文情報検索サービスです。オープンアクセスジャーナル (原文) を豊富に収録しています。

② OPAC連携

各図書館で作成しているオンライン蔵書目録です。探している資料が自館に所蔵されているかどうか分かります。

③ Webcat Plus連携

国立情報学研究所 (NII) 提供。図書・雑誌の総合目録 Webcatに連想検索などの新たな機能を加えた情報サービスです。

④ J-STAGE原文連携

科学技術振興機構 (JST) が運営する、学術論文情報検索サービスです。科学技術情報関係のオープンアクセスジャーナル (原文) を豊富に収録しています。

⑤ CiNii Books連携

国立情報学研究所 (NII) が提供する、蔵書検索サービスです。国内の大学図書館における図書・雑誌等の所蔵状況が分かります。

⑥ OJNavi原文連携

伊藤民雄氏 (実践女子学園) が管理・運営する、オープンアクセスジャーナルを中心とした雑誌単位の学術論文情報検索サービスです。

⑦ RefWorks連携 (図書館の当該契約が前提)

文献情報をWebベースで管理することができます。(ProQuest提供)

⑧ その他の連携

リンクリゾルバ連携 (図書館の当該契約が前提)

OPACや電子ジャーナルなど、文献の入手先へナビゲートします。

東洋経済DCL原文連携 (図書館の当該契約が前提)

東洋経済新報社発行の主要5誌の記事原文を読むことが出来ます。

東洋経済雑誌記事閲覧サービス (有償サービス)

東洋経済新報社が発行する主要ビジネス5誌の電子ジャーナル版をmagazineplusの検索結果にリンクします。別途ご契約が必要です。



*2014年9月9日現在の画像です。

magazineplus

クイックガイド

簡単
3ステップ!

学術誌から一般誌までを横断検索できる
国内最大規模の雑誌記事データベース

Step.1 キーワードを入力して検索

① 調べたい記事に関するキーワードを入力

文献の情報 雑誌・キーワード ロールズ 正義論 必ず含む CLEAR

② 検索ボタンをクリック

検索 ALL CLEAR

Step.2 件数を確認して一覧表示

③ 件数を確認したら表示させてみよう

72件ありました

④ 全てチェックする→チェックした文献を詳細表示

>全てチェックする > チェックした文献を詳細表示

Step.3 詳細表示で記事の情報を確認

⑤ 論文や雑誌記事の……
「著者」が
どんな「タイトル」で
どの「雑誌」の
「何号」の「何頁」に
論文や記事を書いたのか
など詳細な書誌事項を確認できました

magazineplusを使いこなす

Point.1 キーワードだけでなく、より詳細な検索項目を使う

検索の方法がわからないとき、高度な検索方法を知りたいときには「**?**」をクリックしよう。

magazineplusで検索できる収録誌の一覧や、最近の
新着記事の確認ができます。

検索が終わったら他の利用者のために
忘れずログアウトを。

通常検索画面では
標題・キーワード
著者・訳者等
誌名/書名
編者/出版社等
コード類
等を組み合わせたの
検索が可能です。

全文検索では膨大な件数がヒットすることも
なるべく
複数のキーワードを入れて
検索しましょう。

「必ず含む(AND)」 「いずれかを含む(OR)」 を選べます。

より検索結果を絞り込みたい時
には、詳細な検索項目を使うと
便利。

刊行年月の指定で対象
期間を絞り込めます。

「含まない(NOT)」
を使って 検索したく
ないキーワードを外し
てみましょう。

雑誌分類を使えば特定の分野に関するものだけに
限定できます。

Point.2 検索結果の一覧表示は、自分でカスタマイズ

最大3,000件まで表示

一覧画面に何件表示させるかを選べます。最初は100件表示の設定です。

一覧表示では「年次」「記事標題」「著者等」
「誌名/書名」の「昇順」と「降順」を工夫し
て並べかえることで、
自分の見たい順番に表示を自由に切り
替えられます。
最初は刊行年月降順(新しい記事から)になっ
ています。

Point.3 詳細表示させる記事を選び、マイ文献リスト作成

一覧表示でチェックをつ
け、「チェックした文献を
詳細表示」をクリック！

調査・研究を進める時に必要なマイ文献リス
トができました！

検索結果を
プリントアウトまたは
ダウンロード
して、自分用の文献管理
リストを作成。
[ダウンロードの形式]
・ CSV出力
カンマ区切り
・ TSV出力
タブ区切り
・ Bibtex出力
書誌文献管理の形式

「目次を見る」をクリッ
クすれば、目次を見る
ことができます。

Point.4 「目次を見る」と「巻号一覧」を使い、関連情報へ

「目次を見る」をクリックすると、特集等の記
事も一覧でき、便利です。

「この号の目次」が表示されたら「巻号
一覧」も参照してみましょう。
同じ雑誌の別の号に、あなたの探して
いる論文・記事があるかもしれません。

試しに最新号を
チェック